

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 12 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有、実践について確実に繋がっているという経緯に乏しいと感じた。毎日、理念を確認し合い、それを忠実に実践していく事、そして継続していく事が、職場環境を整え入居者様の居心地の良さに繋がると考え、理念の共有実践を確立する。	理念を共有し合う事が簡単な事のように思えるが5年目になっても、理念は？と尋ねても言える職員が少ない。実践に繋ぐことは理解なしでは出来ないので、職員全員が初心に戻り理念の共有、実践を行うとする。	理念の共有に関しては訪問調査の際、毎朝の申し送り時に、理念の唱和を行う事、というアドバイスを実施、内容を理解した上で入居者様に心から寄り添う気持ちを持って実践していく。ということを確認し確立する。	12ヶ月
2		毎日の生活の中で食べたい物がある、出掛けたい、買い物がしたい等々、こちら側の都合で一人ひとりの望みに満足な対応が出来ていない部分がある。個別ケアを重視し外出支援も個々のケースは異なっても可能な限り実現したい。	個別ケアの実践を振り返り、入居者様一人ひとりの望みや要求をどんなに小さな事でも受け止め、寄り添う介護を行うというモットーの元、短期的、長期的に実現すべく、ご家族様や職員と共に実現していく。	入居者様やご家族様から、小さな希望や要求が届く環境を整えていく。良い点は継続し、もう一步という助言や何とかして欲しい点等を真摯に受け止める器作りに努め全体のスキルをあげていく。定期的に要望を尋ねるアンケートを行う事とする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。